

スノーダクトの凍結による漏水事故防止啓発チラシを作成

～漏水で数百万円を超える損害が発生することも。積雪前に屋根の点検・清掃を～

日本損害保険協会北海道支部(委員長：鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員)は、冬季に多発するスノーダクトの凍結による水濡れ事故防止を呼びかけるため、啓発チラシを作成しました。

スノーダクトは、屋根に積もった雪が融けた際の水を排出するための溝のことで、無落雪屋根の代表的な形式です。スノーダクト内に土泥や落ち葉等が詰まっていると、融雪水がスムーズに排水されず、スノーダクト内で凍結して、建物内への漏水につながる危険性があります。

今回作成したチラシでは、実際に詰まったスノーダクトや、実際の建物内への漏水被害の様子を写した写真を掲載し、チラシをご覧になった方に注意を呼びかける内容としています。

また、チラシの裏面には、スノーダクトのチェックの方法や掃除の方法などの情報を載せるとともに、電熱ヒーターやダクトカバーの活用についても呼びかけています。

当支部では、住宅メーカー等の関係機関とも連携しながら、冬季に向けてスノーダクト凍結事故防止の啓発活動を実施していきます。

■2024年度スノーダクト凍結事故防止啓発チラシ

スノーダクトの清掃は雪が降る前に!

スノーダクトや縦樋に落ち葉やゴミが詰まっていると、雨や融雪水がスムーズに排水されず、汚水が屋根から漏れる危険性があります!

落ち葉や泥が詰まった様子

汚水による漏水事故急増中!

屋根の点検には数万円程度の費用がかかることがありますが、漏水すると**数百万円を超える損害**が発生する場合があります。大切な家財や思い出の品などにも被害が及ぶかもしれません。積雪前に屋根の点検・清掃を行うことが大切です。

チェック項目

- 無落雪屋根(M型屋根)である
- 屋根の掃除をしばらくしていない
- ダクトの点検をしていない
- 家の近くに山や大きな木がある
- 自宅内に大きな家財がある

【一般社団法人 日本損害保険協会 北海道支部】
あいちこせいのり 同和損保 AIG損保 共栄火災 セコム損保 ソニー損保 損保ジャパン 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 (2023年9月現在)

当ではまる場合は裏面を確認ください
【スノーダクトの清掃方法】

屋根のゴミを取り除きましょう

専用のタラップから屋根を上り、スノーダクト内の排水溝をチェック、土泥や落ち葉などのゴミを取り除き水が流れればOKです。ごみ袋やゴム手袋などの清掃グッズを用意してください。

※屋根に上る際はご注意ください!
屋根に上るのが難しい場合には無理は禁物。建設業者さんなどに相談しましょう。

※電熱ヒーターやダクトカバーも活用を!
極の内部が凍結しないための電熱ヒーターがついている場合には冬場は切らないようにしましょう。またダクトカバーを設置してゴミ詰まりを防止することもできます。いずれも建設業者さんなどに相談しましょう。

漏水事故による様々なお困りごとが発生しています

自宅の大規模な修繕はもちろん、工事期間中の仮住まいが必要で、**工事代とは別に数十万**かかったわ。お金も手間もかかるし本当に大変だったわ。

屋根からの漏水でパソコン関係が水浸し。保存していた**家族写真のデータが消えてしまったよ**。パソコンは買い替えたけど、思い出は元通りにならなくてショックだよ。

「後悔先に立たず」にならないよう冬に向けた準備・清掃を!

冬季には、水道の凍結にもご注意ください。長期不在時には水道凍結事故を防ぐため、防止策として有効な**「水抜き」**をしましょう!

* 下記 URL からチラシ (PDF) をダウンロードいただけます。
https://www.sonpo.or.jp/news/branch/hokkaido/2024/pdf/2409_chirashi.pdf